



## 今年を振り返って、来年につなぐ

今日は、令和2年度第2学期の終業の日でした。残念ながら今回も、新型コロナウイルス感染症防疫のために、全校生徒を体育館に集めず、放送による終業式を実施しました。ほぼ一年間、全校生徒を体育館に集めず、放送で話をしていますので、私には生徒がどのような表情で聞いているのかが分からず、困惑するところもあります。全校生徒を集め、話をしたり、体験的な活動をした日ができる日が一日も早く来ることを期待するばかりです。

さて、私が生徒に話をするのは、「命」と「夢」のことです。今日の話の内容は、以下のとおりです。

### 1 命について

(1) with コロナで「新しい生活様式」の実践  
マスク着用、手指消毒等は、当たり前です。自分や友だち、家族の命や健康を守るため、実践しよう。

(2) 友だちの人格を守ろう。  
友だちにいじわるをしたり、SNS上に悪口を書いたり、暴力を振るったりしませんでしたか？また、自転車の二人乗りなどして、まわりの人に迷惑をかけませんでしたか？

### 2 夢について

(1) 前向きな行動が素晴らしい。  
コロナ禍にあって、行事を縮小したり、延期したりしています。しかし、今やれることをやれる形で取り組んでいこうとする姿があって素晴らしい。

- (2) 夢の実現のために大切なこと
- 夢を口に出すこと
  - 夢が実現したことをイメージすること
  - やり続けること

今日、学級担任が通知表を渡しました。それぞれの生徒の頑張りや3学期に期待することが記載されています。それを参考に、ご家庭でも「命」と「夢」について話し合い、来年につなげていただくと幸いです。

来年は、丑年です。生徒には、「牛の歩みも千里（努力を怠らなければ成果があがる）」とうことわざを紹介しました。それぞれの生徒が進級する年です。特に3年生は中学校を卒業し、次のステップに進む段階です。飛躍の年にしてほしいと願います。

## 中学生が地域に飛び出すとは

【学校周辺のゴミ拾い活動の様子】→

本校のボランティアクラブ（「Happiness（ハピネス）」）は、敬老の日に高齢者への応援メッセージを届けて以来、学校周辺のゴミ拾いや地区の除草作業で出た草集めをしています。草集めについては、高齢な方が多く、草集めがままならないということで、ボランティアクラブに依頼があったものです。

このように、中学生が地域に出ることで、

- 地域の方に学校の理解が進む。
- 社会的課題に触れることで地域の現状を学び、社会性も培われる。

と考えています。



【東栄町公園の草集め後の様子】



【手話教室で手話を学ぶ様子】

## 2学期を振り返りながら

# 命

# 夢

- 自分の命は、自分で守る。
- 相手の人格を守る。

- 覚悟をもち、今やるべきことをスピード感をもって、突き進もう。

- 全校生徒がベストパフォーマンス（全員が自己ベスト）
- 一人一人のよさを認め、トラブルなし（多様性と調和）
- 一町一中への、門中の未来を築く（伝統を守り、新たなものを創る）

## 夢の実現のために大切なこと

1 夢を口に出して情熱的に語ろう。夢は一人では叶えられない。

- 「叶う」という字は、口に十と書く。
    - ・ 10人に言ったら1人
    - 100人に言ったら10人
    - 1000人に言ったら100人
- 夢の実現につなげてくれる人と出会う。

2 夢が実現したことを具体的にイメージしよう。

- ビジュアル（視覚）で出てこないような夢は実現しない。

3 夢が実現するまでやり続けるよう。

- できると思うからできる。小さな成功体験を積み重ねていくと、小さな自信が積み重なって、絶対的な自信がつく。やればできるという自分になれる。そして、夢は叶う。

【生徒に説明したプレゼン資料の一部】

